

2024年11月19日

下鴨幼稚園に おひさま発電所が できました!

下鴨幼稚園おひさまプロジェクト

ごあいさつ



下鴨幼稚園に繋がる皆様、地域の皆さま、自然を愛する皆さまのたくさんのお気持ちが集まり、このたび、下鴨幼稚園に「おひさま発電所」が完成しました。ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。「おひさま発電所」が出来て以来、大きい子どもが小さい子どもに「おひさまの元気が幼稚園の電気」とパネルの説明をしている姿をたまに目にします。ほほえましく思うと同時に、「子どもたちの元気が私たちの元気」と心の中でつぶやきます。

子どもたちの元気のために、笑顔のために私たちが出来ることは何か。それは「たいせつにする」ということ、そしてその思いを伝えていくことだと思います。神様の「たいせつな存在」である私たち一人ひとりのが、隣にいる人を、この環境、地球を「たいせつにする」その思いを、この「おひさま発電所」を通して子どもたちに伝え、共に考えていきたいと思ひます。

学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園 理事長・園長 出口 崇

下鴨幼稚園でのおひさま発電所の完成おめでとうございます。今回、「賀茂川の自然を感じる、笑顔の絶えない幼稚園」で紹介されている下鴨幼稚園に、太陽光発電設備、蓄電設備、EMS の設備が完成したこと、大変嬉しく思います。多くの方々からご支援いただきましたこと心から感謝申し上げます。「光の子として歩みなさい」というこの園の理念と方針に合わさって、おひさまの恵みをうけて発電する太陽光発電設備が、一層の輝きある子どもたちを育んでいくと思います。豊かな自然と社会の関わりを心にとめ、多くを体験し学んで、将来は気候危機を克服していく担い手にもなっていくことも期待しています。今回のプロジェクトをきっかけとして、持続可能で笑顔のあふれる脱炭素地域づくりの取り組みに私たちも一緒にさせていただければ幸いです。

市民再エネプロジェクト in 京都・認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド理事長 田浦 健朗

下鴨幼稚園のふだんの保育活動から……



幼稚園から徒歩 5 分の賀茂川は第二の園庭。四季の自然を感じに行きます。

月に一度の「食べよう会」子どもたちはスーパーへの買出しから、洗う、混ぜる、切る、年齢ごとに力を合わせておいしい料理を作ります。



発電所作りスタート!

①下鴨幼稚園おひさま発電所計画始動!



同じ聖公会に所属する聖光幼稚園さん(おひさま発電所 24 号機)からのご紹介で計画はスタート。

②寄付募集チラシ



この活動はソニー銀行の認定プロジェクトです
SDGに貢献する寄付型クラウドファンディング
GIVING for SDGs
sponsored by ソニー銀行
決済手数料はソニー銀行が全額負担しています。
あなたの思いを 100% 実現に届けます。

多くの人に「おひさまプロジェクト」を知ってもらおうと、寄付の呼びかけは全国に……。オンライン寄付サイト Giveone でも寄付を募りました。また、クラウドファンディング GIVING for SDGs (コングラント株式会社) にも挑戦しました。

③設置工事



屋根の上の工事は大変です。慎重に進めていきます。みんなの思いがこもった特別なソーラーパネルです。

点灯式!

①点灯の日



遠くから 70 年前の園児さんもかけつけてくださいました。さすが、100 年近くの歴史ある幼稚園です。

②点灯



子どもたちの手でスイッチオン! 初めてのおひさまでんきで十字架が輝きました。

③礼拝



礼拝堂に鐘がなり響く中、明かりをともして、厳かに礼拝が始まります。「これからは、太陽の光(かみさまのおめぐみ)で、園で使う電気が作れます。」と出口園長が子どもたちに語りかけます。
讃美歌『よもりも おやまも おひさまも おつくりなされたかみさま♪』とすばらしい自然をくださったことに感謝します。



最後はおひさまに感謝をこめて、みんなでバンザイ!

④ご挨拶



市民再エネプロジェクト in 京都・きょうとグリーンファンド理事長 田浦 健朗
下鴨幼稚園 園長 出口 崇

「夏は暑すぎて外で遊ばせられない。自然の脅威の前に無力さを感じるが、無力ではなく微力である。おひさま発電所をきっかけに、未来に残せることを考えていきたい。」と出口園長のご挨拶でした。

⑤ミニ講座



お話は、ひのでやエコライフ研究所 山見 拓さん
まずは「電気はどこから来るの?」と問いかけ……たどっていくと発電所。でも CO₂ が出る。排出できる CO₂ は、あとわずか、10 年後、後悔しないように CO₂ の出ない再エネを増やす。誰も不幸にしない発電所(おひさま発電所)を増やそう!

⑥発電所看板贈呈



木は CO₂ を吸収して固定化したものです。下鴨幼稚園のおひさま発電所への思いを込めた看板を作ってくださいね。

⑦来賓ご祝辞



京都府総合政策環境部脱炭素社会推進課参事 小林 洋一郎 様
次世代の子どもたちへの環境教育が大事、太陽光発電のある暮らしがあたりまえの暮らしになるといいですね。

京都市環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策企画課長 関山 達郎 様
市では再エネ普及促進を重点施策としています。このおひさまプロジェクトの取組は、大変意義のある取組ですね。

⑧太陽光発電・蓄電設備見学



事業の概要

この事業は、学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園と市民再エネプロジェクト in 京都が協力して、京都市左京区にある下鴨幼稚園に、市民共同で太陽光発電設備、蓄電設備と EMS を設置しました。
事業費は、市民からの寄付、市民再エネプロジェクト「おひさま基金」、学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園の資金（京都府自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金を含む）、民間助成金等でまかないました。
設置後は、下鴨幼稚園が環境に配慮した施設となるよう、市民再エネプロジェクト in 京都も協力して環境学習を進めていきます。

後援 京都府、京都市、特定非営利活動法人 KES 環境機構、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）

協力 宗教法人日本聖公会京都教区、下鴨基督教会、有限会社ひのでやエコライフ研究所、Fridays For Future Kyoto、太陽ガスグループ、Happy Energy

導入する設備 太陽光発電設備（12.04kW）、蓄電設備（7.04kWh）、EMS（エネルギーマネジメントシステム）

発電所データ

設置施設：学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園

設置日：2024年11月19日

発電能力：12.04kW

年間予想発電量：約12,000kWh

総事業費：約511万円

寄付額：ゆうちょ払込による寄付640,000円（85件）

オンライン寄付サイト Giveone を通じての寄付 51,000円（6件）

クラウドファンディング GIVING for SDGs（コングラント株式会社）による寄付62,000円（6件）

寄付募集期間：2024年8月1日～2025年1月31日

学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園

下鴨幼稚園は1928年に「下鴨幼児園」として礼拝堂隣の空地にテントを張り、「家なき幼稚園」として歩みを始めました。子どもたちの中にある光を大切に育み、隣の人を照らす光になってほしい。そんな願いを込めた保育を行っております。毎朝子どもたちと歌う『♪もりも おやまも おひさまも おつくりなさったかみさま♪』（幼児讃美歌）神様に大切にされている私たち一人ひとりが、同じく神様の創られた自然と共に生かされている恵みを感謝しています。この度、子どもたちの未来のために、「下鴨幼稚園おひさまプロジェクト」をはじめます。子どもたち、ご家庭、地域の皆様と共に、様々な学び、気づきが与えられることが出来ればと願います。



市民再エネプロジェクト in 京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと立ち上げたプロジェクトです。この度、2050年カーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーを、今まで以上に普及させるとともに、大規模災害に備えて、地域の公共的な施設への設置を最優先して進めるために連携して取り組むことにしました。

寄付集めや助成金のノウハウ、太陽光発電の設置経験や知識を持つ非営利団体が集まったプロジェクトです。皆様の太陽光発電設備設置をサポートします。

参加団体：NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定 NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿、NPO 法人 環境市民、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド

●温暖化を防ぎ、原発に依存しない社会を子どもたちに引き継ぐため、今私たち一人ひとりがすぐ出来る事のひとつが省エネ・節電です。かしこく効率的な電気の使い方を工夫することで、かなりの節電が可能です。節電分を寄付することで、持続可能な自然エネルギーを普及させることができます。ぜひ「おひさま発電所」づくりに、ご参加ください



おひさまでんきプロジェクト～あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー（再エネ）で100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ（新電力会社）がはじめた共同プロジェクトです。

太陽ガス（関西地区代理店 Happy Energy）に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう！

●このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。

学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園

〒606-0811 京都市左京区下鴨中川原町 75 番地
TEL：075-781-0989
FAX：075-781-4353
URL：<https://shimogamo-kindergarten.jp/>

市民再エネプロジェクト in 京都

（事務局：認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド）
〒600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町 21 番地
事務機のウエダビル 206
TEL/FAX：075-352-9150
E-mail：info@kyoto-gf.org
URL：<http://www.kyoto-gf.org>

この印刷物は
自然エネルギー
（太陽光）を
活用して
印刷しました。

